

056



(はあ、毎日こんな時間まで仕事じゃ身体が持たないぞ...)

(おや、こんな時間に○学生が乗ってるなんて珍しいな...)

(あれは確か有名○学校の制服だったような...こんな時間まで

塾なのかな、今どきは子供も大変だ)

ガタン...

ゴト...

ガタン...

ゴト...

(は、然し可愛い子だな...こんな子が娘だったら俺も毎日頑張れるのに...)



(…ん？…あの子こんなところでオナニーしてる…？)
(俺しか乗ってないから気付いてないのか…？いやそんな馬鹿な…)

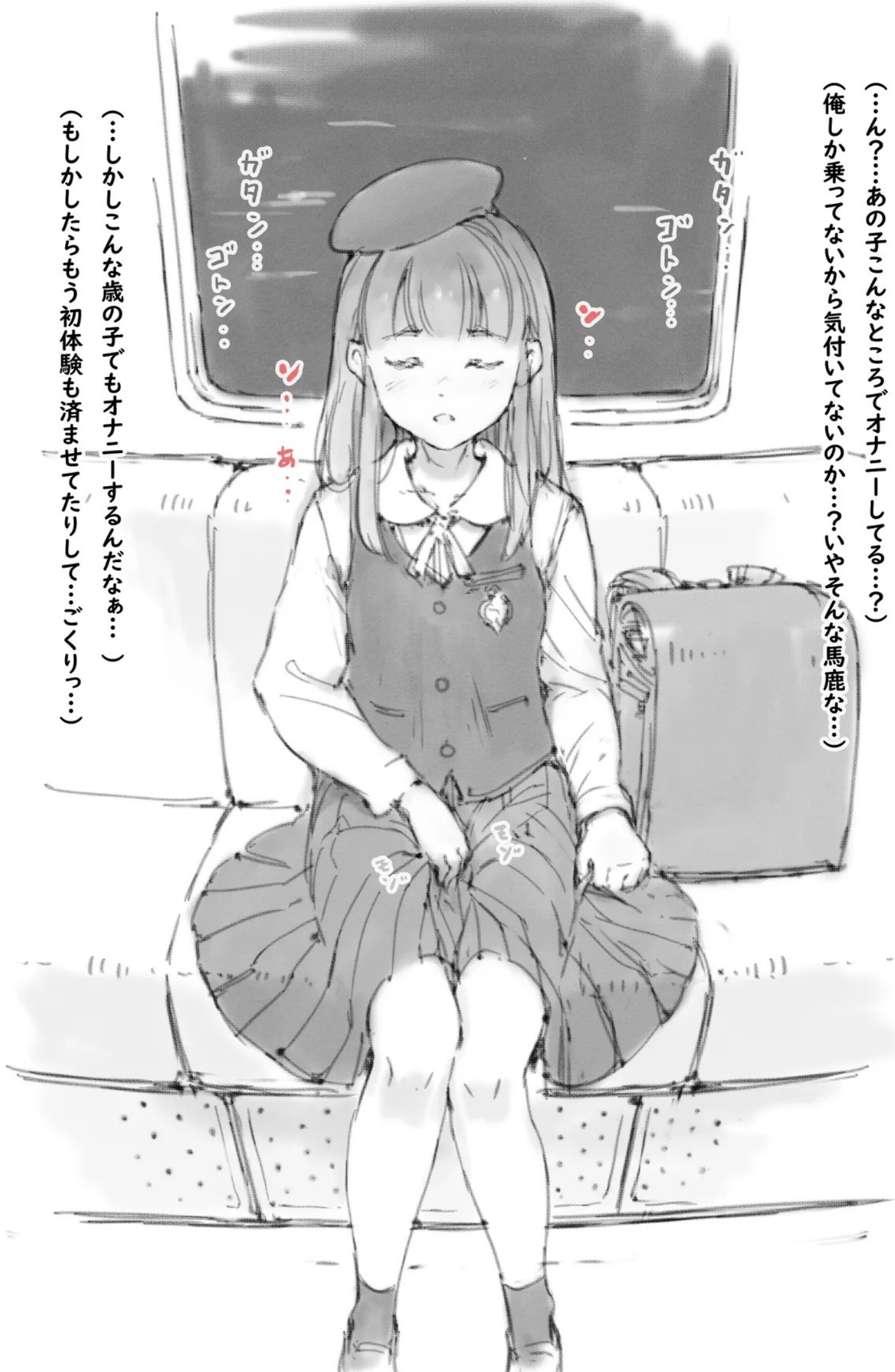
ガタン…

ゴトン…

ガタン…
ゴトン…

♡…あ…

(…しかしこんな歳の子でもオナニーするんだなあ…)
(もしかしたらもう初体験も済ませてたりして…ぐくりっ…)



少女がちいさな嬌声をあげながら自慰に耽るのを、俺は見続けていた…
やがて少女は一度大きく震えると、身体の動きを止めた

(おお…いつてるなあれは…)

ゴトン…

ガタン…

ん…ん…

びゅっ

ずゅん

ザワッ…

ゴトン…

あ…ん…

びゅん

(…いいもの見れたなあ…暫くオナネタに困らなくて済みそうだ…)
鞆で勃起したナニを隠しながら、俺はそんなことを考えていた



いけない妄想にふけっていると、いつの間にか少女が
こちらを見ていることに気づいた

がタン...

ゴトン...

あひ...

チン...

!!

ガタン...

ゴトン...

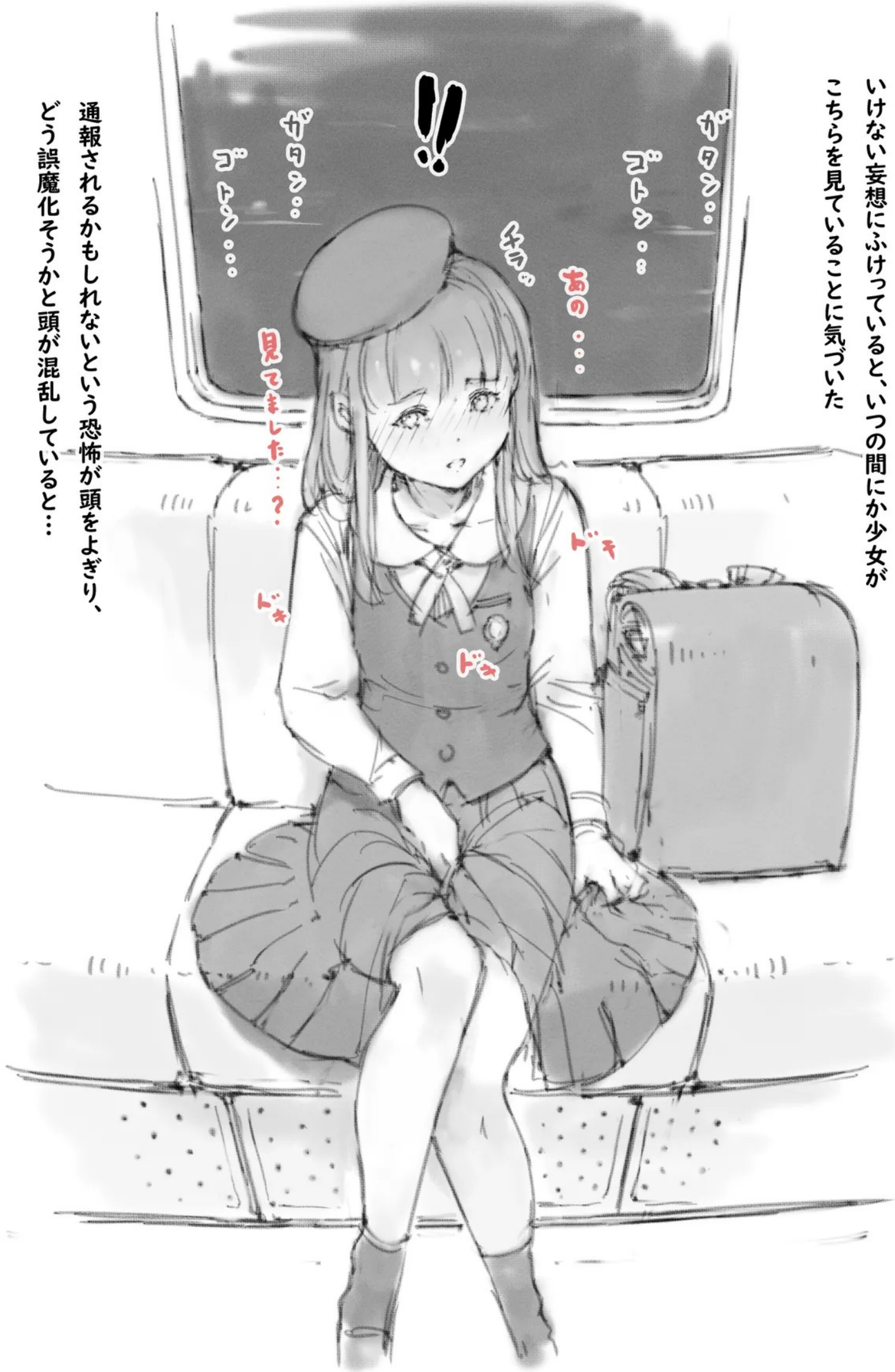
見えました...??

ドキ

ドキ

ドキ

通報されるかもしれないという恐怖が頭をよぎり、
どう誤魔化そうかと頭が混乱していると...



(.....!)

ガタン...

ゴトン...

!!!

ガタン...

ゴトン...

カ...

お...

ゴッ...

おじさんのも

見せてお見らていいですが...?

ドキ

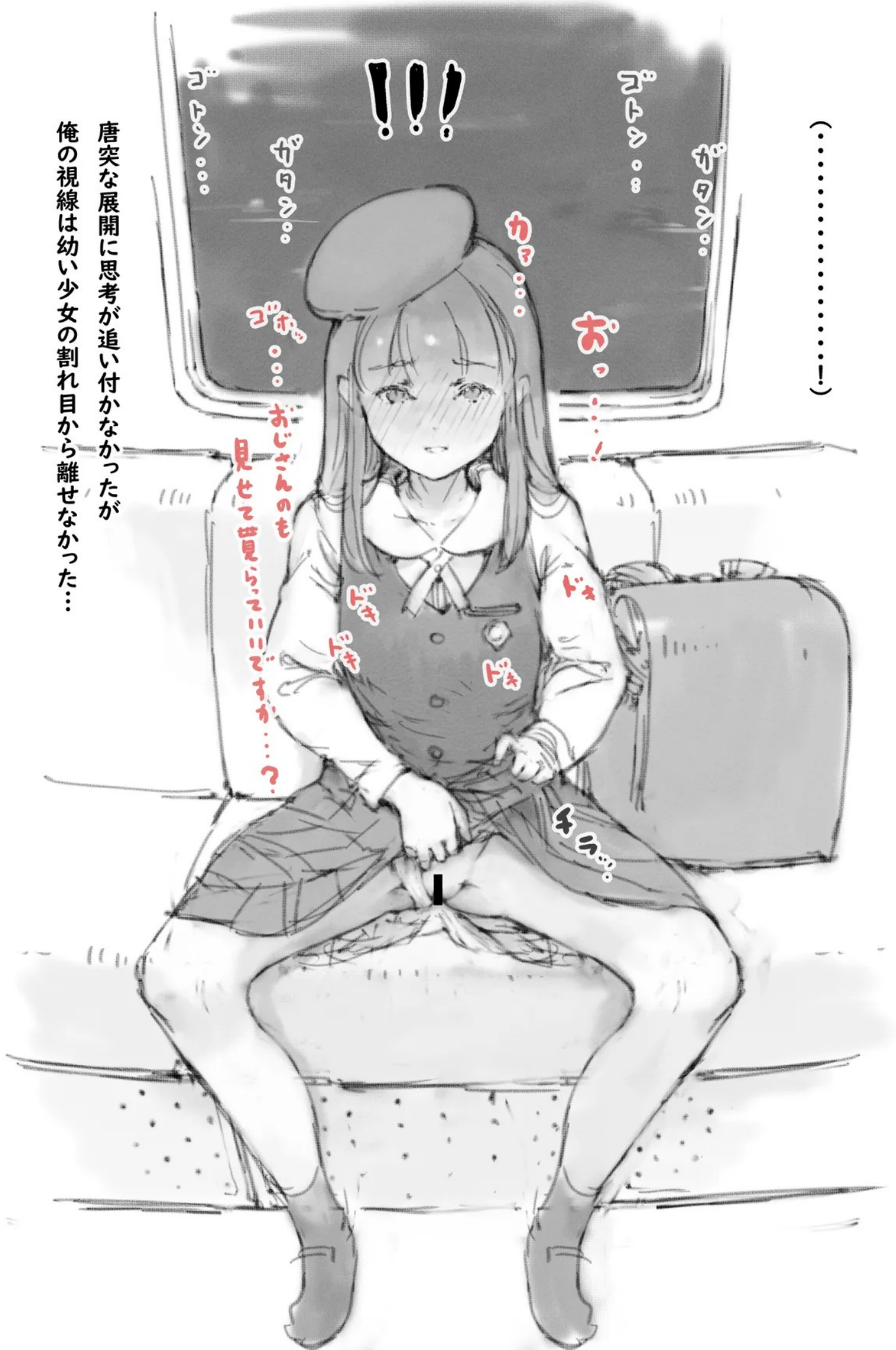
ドキ

ドキ

ドキ

キーン...

唐突な展開に思考が追いつかなかったが
俺の視線は幼い少女の割れ目から離せなかった...



犯罪とか美人局という言葉が脳裏をよぎったが、
千載一遇のチャンスと興奮で頭が一杯の俺は、
少女に自分のものをさらけ出していた

ボロ...

あ、
おっせーい...
わ...

ドスッ

これが
木トのおまんこ...

木トの木
こころと
おまんこ...

こころと...
おまんこ...

知

知

知

知



この子を滅茶苦茶にしたい…

が、

あ…!

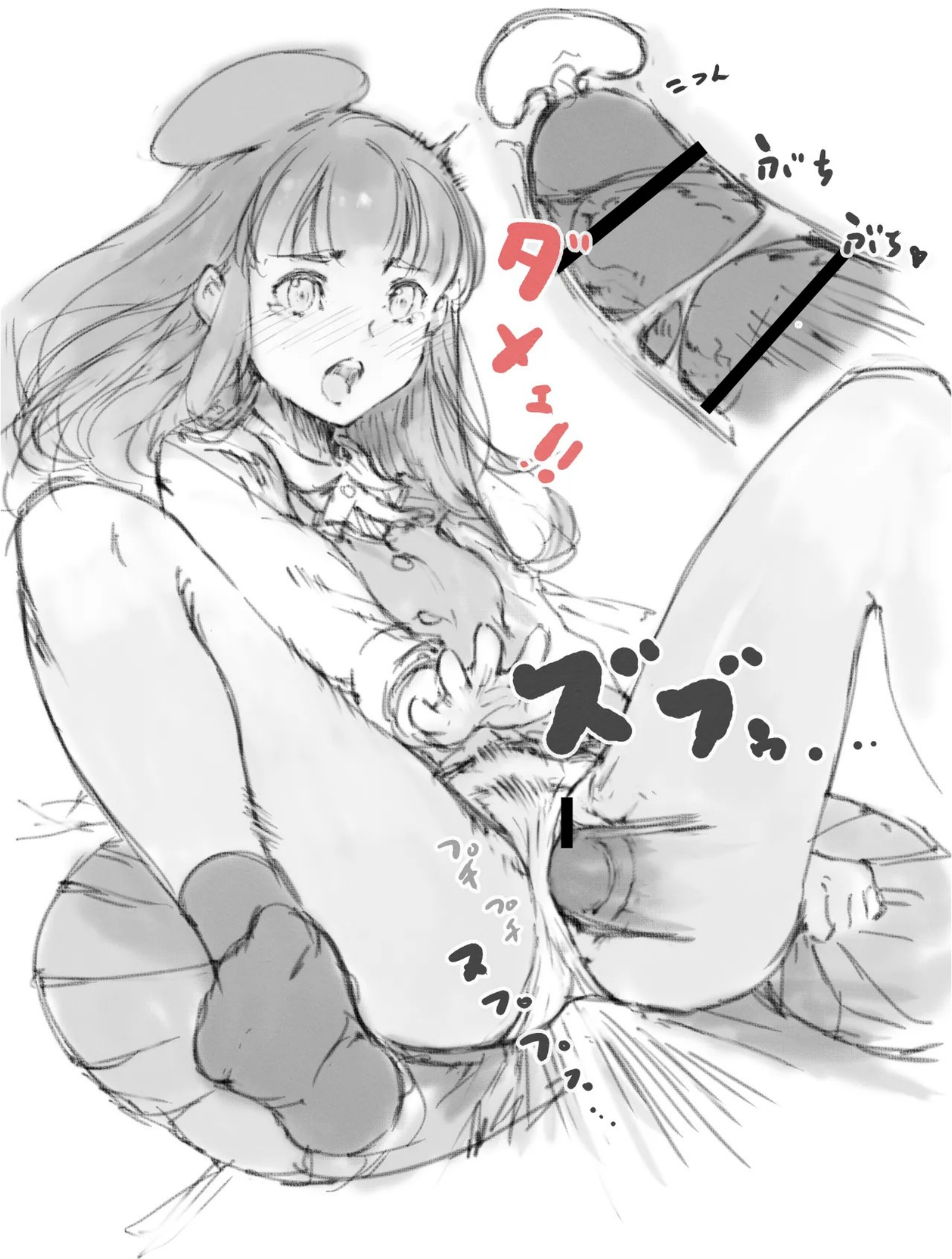
あ、
あのだい…?

あ…

あ…





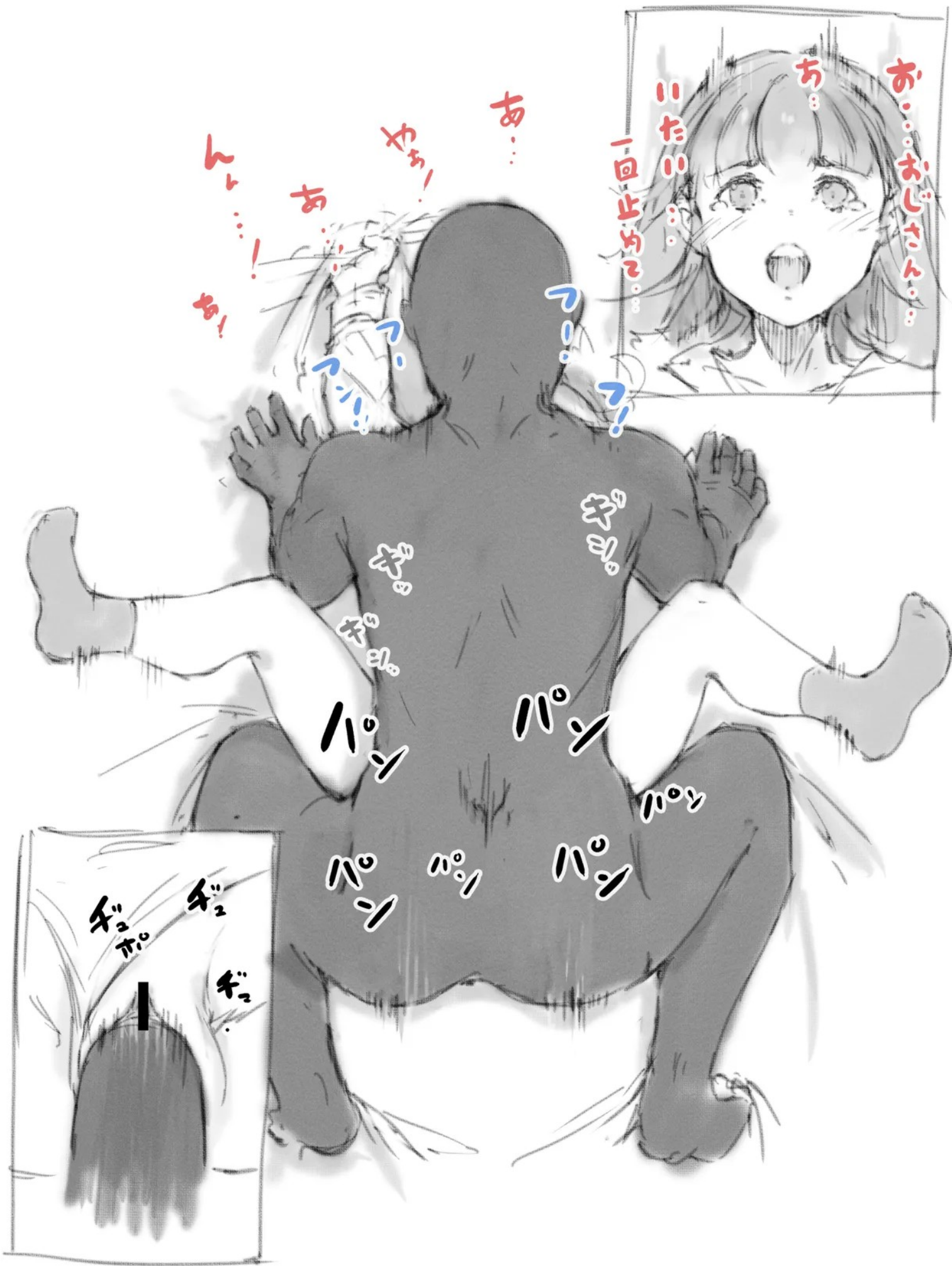


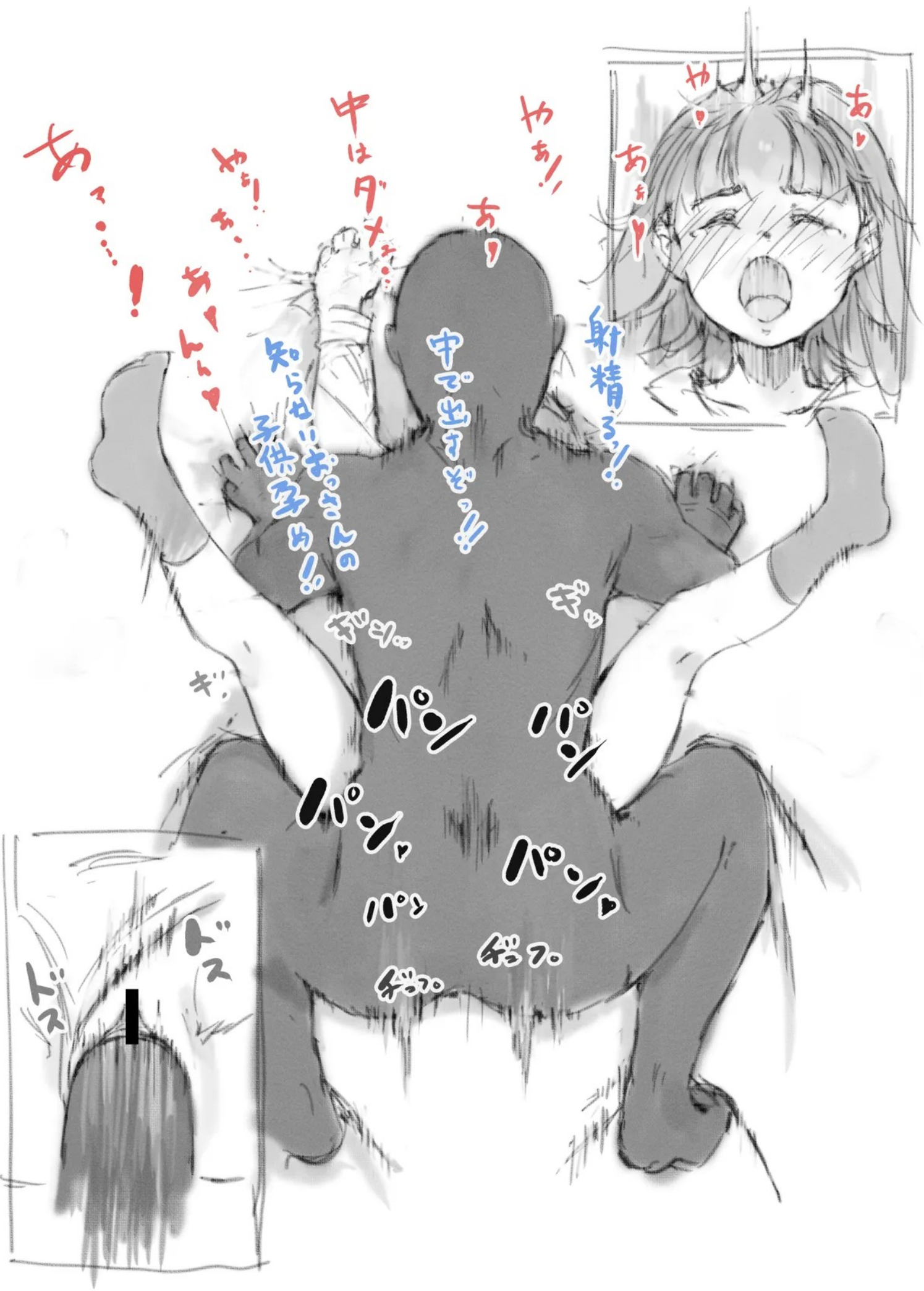
タッ

ハッ
ハッ

ズン...

フッ
フッ
フッ
フッ
フッ...





あゝゝゝ!!

やあ! やあ! やあ!

中は丹ナ

やあ!

あゝ

あゝ やあ! あゝ

知らないおっさんの
子供やめ!

中に出すぞ!!

射精ろ!!

ギョ

ギョ

ギョ

パン

パン

パン

パン

パン

ギョ

ギョ

ドン

グッ



ゴク

ゴク

ドクドク

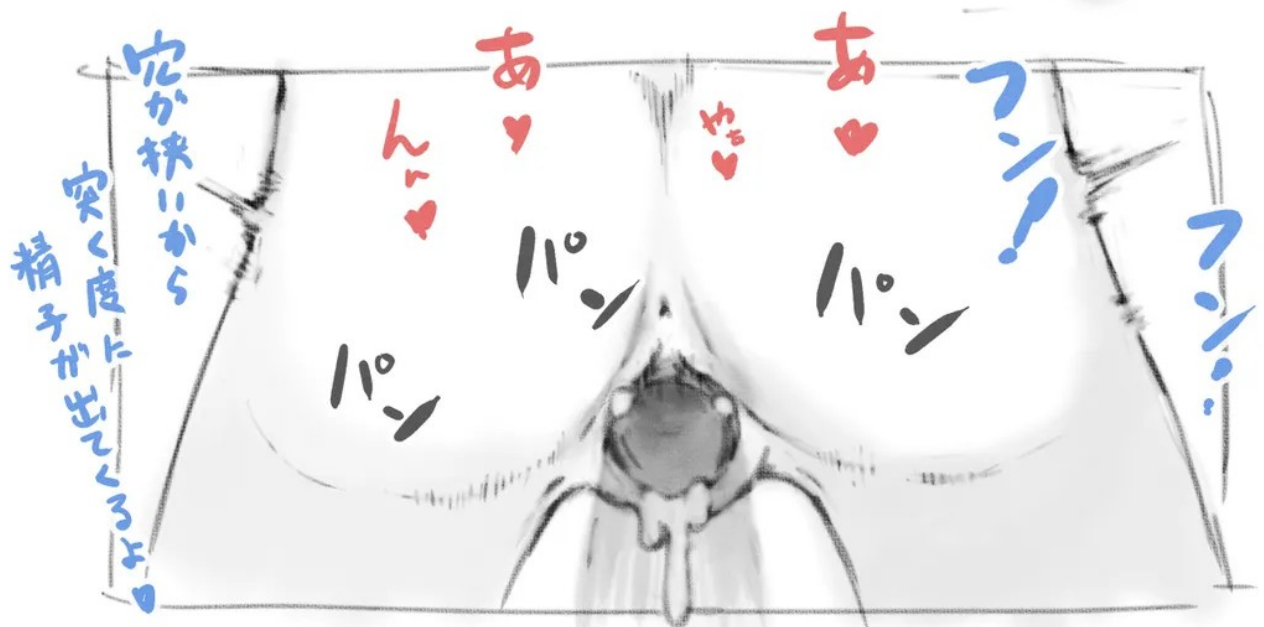
ドクドク...

ビュルル...



まだ寝ちゃ
駄目だよ♡
おんねから
ぬがぬがっせーね♡

イグッ



それから俺は夢中で少女の体を食った…
まだ子供を宿すには幼い体に、確実に種を付けようと
餓えた獣のようにひたすら中出しを続けた。

行為は数十回にも及び、いつの間にか少女の

喘ぎ声とも鳴き声ともとれる声も止んでいた…



○×学園初等

6年2組

榎本 沙雪

榎本沙雪ちゃんって名前

だったんだね♡

今録画してるから今日の事

誰かに話しちゃダメだよ♡

づお...



お股痛”...

おちんちん見たかったんだけどのに
すこし事されちゃったの...

...一回だけだし大丈夫だよ...





1000 回 抜 か れ た 記 念

お ま け

あ り が と う に な り ま す

それから
しばらくして…

はち

こう毎日残業残業じ
やっつけられないなあ
のくせ給料は

ガタン
ゴトン

ガタン
ゴトン

トーン

ん?

おっ?

おおっ!?

ななんだ!?

さわ

さわ

さわ

やめなさい

わ

…子供?

あ

…何なんだ一体…

あら…

私はあの日の出来事が頭から離れなくなっていました

つつ...

はっなにを...

あ...

私と...えっちを

しませんか?...

は...

ばいばい...

大人の私たちは私が誘うと断ることは殆どありません

あ...バキッ

あ...バキッ

あ...バキッ

あ...バキッ

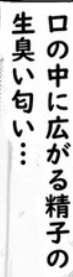
あ...バキッ

あ...バキッ

あ...バキッ

あ...バキッ

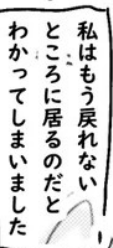
あ...バキッ



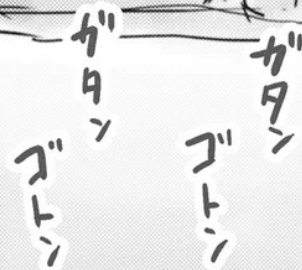
こんな事をいつまでも続けてはいけない、と思いつつずるずると快楽に溺れていたある日：



私は通学途中の電車で
レイプされました



私の個人情報がいづのまにかそういう人達に流されていたようでした



そんな日々を過ごしている
うち、私は妊娠していました

親にも言えないまま日々
大きくなっていうお腹…
そんな現実から逃れるよう、
私はより快楽にのめり込んで
いくのでした



あの日の電車で何故
あんなことをしたのか…
今となってはもう思い出せません

今はもう…何も考えたくありません…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

ぬっちゅ

ぬっちゅ

ぬっちゅ

ぬっちゅ

ぬっちゅ

ふっふっ